

Youth Sailing



Japan Junior Yacht Club Union

ユースセーリング

[ジュニアヨット指導書]

No. 88

国際交流

日本ジュニアヨットクラブ競技会 2019 in 若洲 ... 2



第6回
ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ
(ミキハウスカップ大阪2019) ... 6

第5回
ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ
(ミキハウスカップ大阪2018) ... 10

YSクローズアップ

第7回

ジュニアヨットクラブジャンボリー
2019 in 行方 ... 14

2018年度

海外セーリング研修報告

パース ... 18

オークランド ... 20



巻頭言／ジュニアセーラーよ羽ばたけ！

大阪府ヨットセーリング連盟会長 岩崎 清彦... 1

レース成績表

(国際交流競技会、ミキハウスカップ大阪2019・2018)

... 22

JJYU NOTICE BOARD

イベントスケジュール、連盟会長表彰、他... 26

発行日／2020.3.1

発行／一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟

発行人／伊藤雅宣

編集人／岸野 寛、葛西信一

事務局／〒182-0004 東京都調布市入間町3-20-5

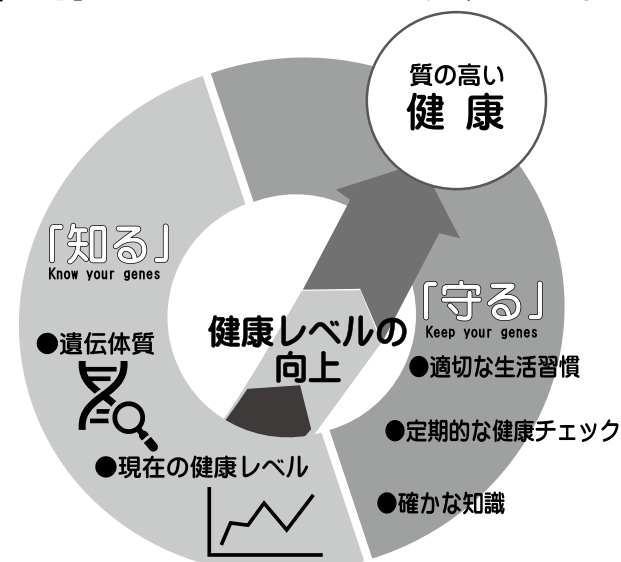
TEL: 03-6277-9641 FAX: 03-6277-9646

e-mail / jjyacht@jjyu.net

<KYG協会のご案内> 健康づくりのために今すぐ始められること。

KYG 協会は、楽しい人生創りを実現する 健康自主管理運動「KYG運動」を推進するNPO法人です。

人生 100 年時代、楽しい人生創りの鍵は、自分の健康を医療に任せきりにするのではなく、自らの体質を知り生活習慣を改善して質の高い健康を目指すことです。そのためにはあふれかえる健康情報の中から自分に合った健康法を選択し、日々の中で実践する力を養うことが大事です。当協会はそのため、健康自主管理運動「KYG運動（Know&Keep Your Genes 自分の遺伝子を知り、それを正常に保つ）」を推進しています。



KYG 協会のサービスのご案内（詳しくはHPをご覧ください。）

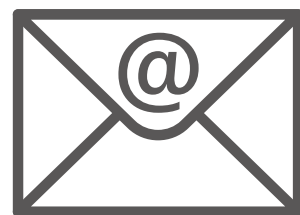
会報誌『ジェネッサ』（年4回発行） 健康づくり情報をお届け



最新の健康、栄養、予防医療・先制医療などの情報を分かりやすくお伝えしています。食品の機能性を意識したお手軽レシピもご紹介中です。

[ジェネッサ vol.62]
2020年1月15日発行
【特集】生命科学の進化がもたらす
医療変革～ゲノム医療台頭～

毎月10日ごろ配信 健康情報メルマガ配信

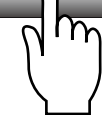


時期に合わせて最新の健康情報や栄養情報を無料で配信しています。是非ご登録ください。

KYG

検索

<http://kyg.jp>



KYG協会入会(会員登録)のご案内

健康づくりに必要な知識を普及し様々な健康サービスで皆様の積極的な健康づくりを支援するKYG協会の活動に、是非皆様のご協力を賜ります様よろしくお願いいたします。ご入会頂きますと、KYG協会の会報誌「ジェネッサ」が送付され、健康づくりに役立つ様々なサービスを会員価格でご利用頂けます。年会費 3,000 円（入会金なし / 年 1 回入会月にご指定金融機関口座より自動引落）

入会書類のご請求／お問合せは **K Y G 協会** まで

NPO法人 KYG協会 TEL:03-5644-0881（平日9:30～17:30）

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-6-6 FAX:03-6745-8981

巻頭言

ジュニアセーラーよ

羽ばたけ！

私が皆さんと同じように海に親しむようになりましたのは、自宅近くに海があった為にヨットに毎日楽しく乗るようになった事からです。様々な活動の中、昭和 40 年に大阪府貝塚市の二色の浜公園に大阪府下では初めてセーラーの為にヨットハーバーを開港致しました。当時はクルーザーヨットも少ない時代でしたがいろいろなディンギー及び大学ヨット部の学生が中心のディンギーハーバーでした。時代を経て高速道路建設のため、平成 12 年現在の場所に移転し、大阪府ヨットセーリング連盟事務局及び同連盟二色ハーバー・オーシャンワンとして、大阪府下だけでなく近隣県からも多数会員がクルーザーにディンギーに幅広く利用・活動する施設となってきています。

大阪に本社を構えておられ、セーリング以外の他のスポーツ競技にもその応援に協力的な株式会社ミキハウス様に特別協賛を頂いて、一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟が主催するジュニアヨット国際親善大阪レガッタ（ミキハウスカップ大阪）を、私どもの本拠地であります大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバーにて、2018 年、2019 年と続けて、共同主催させて頂いています。北は明石海峡、南は友が島水道がある大阪湾の中心点に当たるこの二色ハーバーにて、2020 年も開催する予定です。関西国際空港も近いこともあり海外のジュニア達にも多数ご参加をお願いしたいと思っております。

子供達にとって常に変化する自然の条件下で、他艇と競い、風の状況、潮流の影響、波の状態などを勘案してヨットのセッティングを行いヨットの持つ最大限のスピードを引き出す事、他艇との位置関係、コース取り、コース全体を俯瞰的にみて、戦略と戦術を駆使しながら海という自然と向き合い、闘うことで心身ともに成長し豊かな感性を育むことは、確実に将来への糧になると確信しております。

いよいよ 2020 年は東京オリンピックイヤーとなり神奈川県江ノ島にてセーリング競技は開催されます。世界有数の海洋国であります日本が、世界が注目するスポーツイベントを迎える今、世界中のヨットを愛する次世代のオリンピックセーラーの皆さんの活躍を大いに期待し、応援していきたいと思っております。



大阪府ヨットセーリング連盟会長

岩崎 清彦

実施報告

実行委員長
一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟
常務理事 塩野崎 英二



選手全員で記念撮影



JJYU 伊藤雅宣専務理事の競技会開会宣言

はじめに

2019年の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会は、8月2日から4日、東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所にて、海外から招待のオーストラリア、ニュージーランド、韓国、台湾（初参加）の4チームと、国内は東京から南は沖縄石垣島までの11クラブを迎えて開催されました。海外含め84名の選手に、60名を超えるコーチ、応援の保護者を迎えて、運営役員も80名余の総勢220名に近い規模となりました。

江東区長山崎孝明様より歓迎のお言葉



山中湖宣言



開会式

開会式は立派なホテルマリナーズコート東京の2F宴会場「平安の間」ということで、選手、指導者、大会役員も少し緊張気味のなか、競技会委員長のJJYU 伊藤雅宣専務理事の競技会開会宣言で始まり、ご来賓の江東区長山崎孝明様より、心からの歓迎のお言葉をいただきました。続いて、少年ヨット憲章「山中湖宣言」を江東区立小中学校セーリング部の3名（小山すみれさん、上條久美子さん、池田ももかさん）、選手宣誓を江東区立小中学校セーリング部の2名（北浦州陽さん、松岡拓飛さん）とユースチーム東京の三浦航太さんたちが、力強い言葉で表現してくれました。終了後、恒例の安全講習会、続いて競技運営説明会をA海面、B海面に分かれて行いました。

選手宣誓



競技運営説明会（B海面）



安全講習会

国際交流会

開会式会場を模様替えて開催した国際交流会は、クラブ、各国チームをアットランダムにテーブル分けして、交流しながら、食事を楽しみ、海外チームとの記念品交換、各クラブの紹介など、なごやかに繰り上げられました。例年催していたアトラクションはありませんでしたが、野村式典委員長自らがじゃんけん大会を演出し、いろいろな景品を順に配布しました。最後はスターモア化粧品株式会社提供の小型自転車が当たりました。

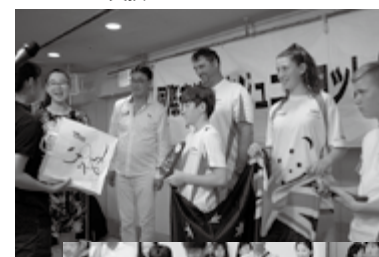
東京都ヨット連盟
鈴木会長代行による
乾杯



まずは
腹ごしらえ



プレゼント交換



じゃんけん大会



国際420級のレース



A海面のレース状況

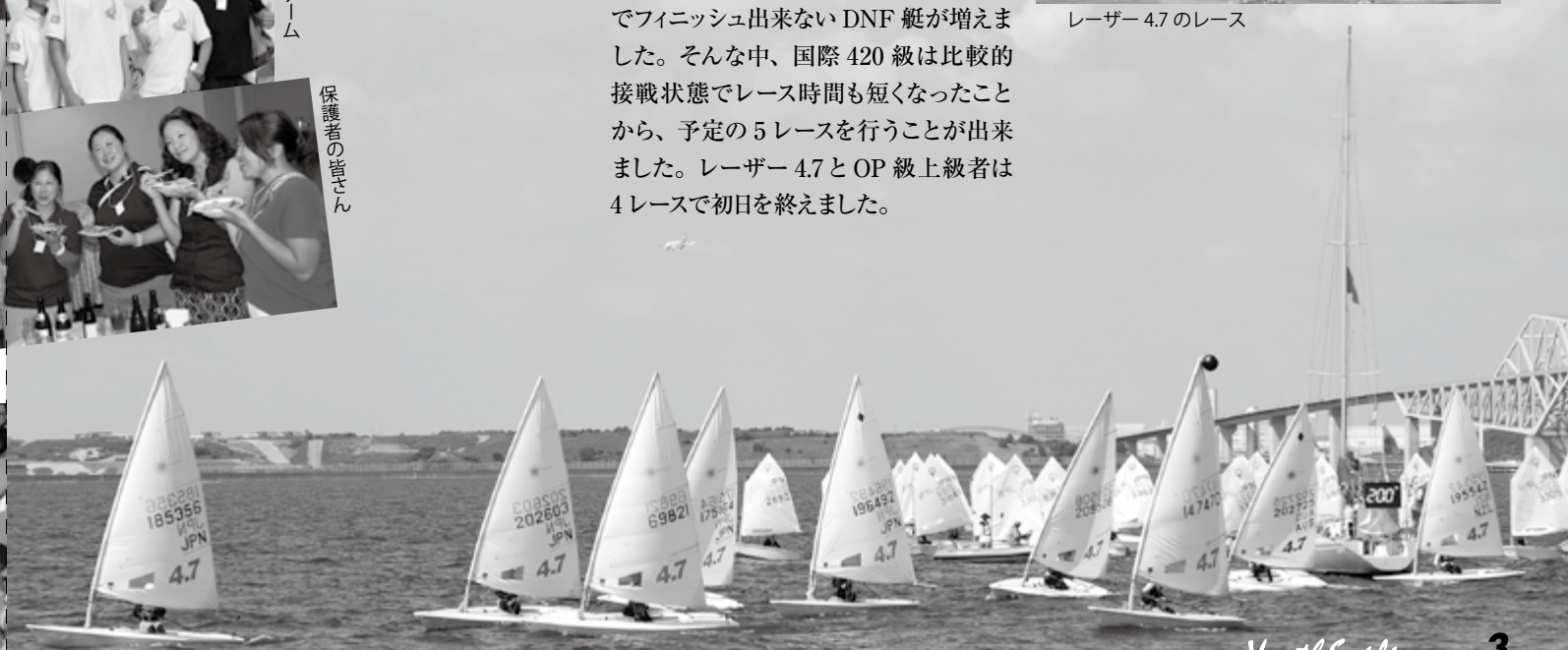
競技会は2日間を通し猛暑となりましたが、暑い夏での若洲特有の200°前後の安定した風軸で、4.5knot～15knotと幅広い風域、それに合わせた0m～1.5mの波高の中、日頃の練習の成果を発揮できるシチュエーションで、予定通りの7レースを行いました。

■8月3日（土）競技会初日

安定した風の下、若干の遅れで第1レースを開始しました。第1レースは200°の9knot、第2レースは風軸変わらず若干風が上がり10knotで、±10°の振れを感じてコース戦略出来た選手に軍配が上がったように思います。午後になり徐々に風速が上がり、強風域とうねりの攻略に技量の差が大きく出始めて、特にOP級上級者はタイムリミットでフィニッシュ出来ないDNF艇が増えました。そんな中、国際420級は比較的接戦状態でレース時間も短くなったことから、予定の5レースを行うことが出来ました。レーザー4.7とOP級上級者は4レースで初日を終わりました。



レーザー4.7のレース



■ 8月4日(日) 競技会 2日目

200°の8knotで国際420級、レーザー4.7、OP級上級者の順で、予定通りの時間にスタートしました。この日の2レース目から微風になり、210°の5knotでレースを行い、辛抱強く時折入る6〜7knotのブローを上手に掴んだ選手が好成績を出しました。ここで、国際420級は既定の7レースを終えハーバーに帰りました。

レーザー4.7とOP級上級者は残り1レース。予定時間ギリギリでしたが、180°の4.5knotが確実に確認できたので、最終レースをスタートさせ、風が落ちる時間もありましたが無事終了できました。

B 海面のレース状況

OP級初級者の参加は、16名。選手は、小3〜中3まで年齢差があったものの、セーリング経験は2年未満でした。

■ 8月3日(土) 予選

予選レースは選手をあらかじめ一定のルールで、4ディビジョンに分け、2つのディビジョン同士が対戦し、計6レースで結果を出すこととしました。風速4knot、風軸180°±15で、9時55分に第1レースの予告信号を発しました。風が弱くまた潮の影響を受けて、各艇マーク回航に苦労しておりましたが、第3レース頃から風速が6〜8knotにあがりスムーズに帆走出来るようになり、12時過ぎに予定の6レースが終了しました。午後は選手の希望により、観覧艇に乗りA海面の観戦を行いました。



OP級初級者は予選のあと、上級者のレースを観戦



OP級初級者のレース

■ 8月4日(日) 決勝戦

決勝戦は、予選の結果の上位8艇と下位8艇に分け、最初に下位8艇が2レースを行い、次にそのトップ3艇と予選の上位8艇の計11艇で2レースを行って最終順位をつけます。

予選下位グループによる第1レースは、60°±15°、5knotの風の下、予定通り9時30分にスタート、2レース行い勝ち残りの3艇を決め、続けて決勝レース2レースを行いました。さすがに上位グループだけあって、安定した走りをみせ、決勝レースは11時22分に無事終了しました。

海外招待チームの状況

今年の競技会にはオーストラリア・ニュージーランド・韓国・台湾の4か国からレーザー4.7級2名・OP級上級者11名の選手、コーチ・保護者6名、総勢19名が参加しました。

レース海面では例年と同様に各国コーチがコーチボートから自国選手へ積極的にアドバイスを出していました。国際交流個人対抗レースでは、レーザー4.7級でニュージーランド選手が総合3位を獲得、OP級上級者では同じくニュージーランド選手が総合5位入賞。海外チーム戦ではニュージーランドチームが優勝を飾りました。

今年は台湾チームが初参加しましたが、日本側のおもてなし・レース運営等はとても素晴らしいものであったとの感想を頂き、来年は10名位の選手を参加させたいと言っておりました。台湾チームは沖縄の石垣ジュニアヨットクラブと定期的に交流をしていることから参加を呼び掛けた結果です。

医療救護部 総括

連日30℃を越す猛暑の中の競技会となり、安全講習会をはじめ、水分補給に関して十分な対策を取るよう参加選手、クラブの指導者に徹底しておりましたが、大事には至らなかったものの、4名の参加選手から熱中症の症状の訴えがありました。また、閉会式中に艇庫内会場後ろの台上のカレー鍋を転倒させて、子供とコーチに余熱が残っていたカレーがかかる事故があり、熱傷I度以下で大事には至りませんでしたが、人が集まる場所での整理整頓、後片付けをしっかりとする必要があったと思われる。



チームオーストラリアのアンドリュー・マッコレーさんの挨拶

閉会式

ほぼ予定通り開催された閉会式では、安井清競技会副会長のご挨拶、谷口弘次レース委員会信号艇艇長による成績発表及び表彰式に続き、高間博之プロテスト委員長よりレース講評を頂きました。2015年度から新たに設けられました小澤吉太郎先生の教えに沿うシーマンシップを称える特別賞には、本年は石垣ジュニアセーリングクラブの星野蘭さんが個人として選ばれました。最後に海外チーム指導者代表としてチームオーストラリアのアンドリュー・マッコレーさんのご挨拶をいただき、若洲ヨットハーバースタッフでもある浜崎濤次郎競技会副委員長の競技会終了宣言にて大会を終了しました。



国際交流クラブ対抗レース第1位（会長特別杯）ニュージーランドチーム（中央）



「国内クラブ対抗レース」優勝の葉山町セーリング協会代表青山義弘氏（中央）



OP級上級者第1位（文部科学大臣杯）重松陽さん（夢の島ヨットクラブ）と入賞者の皆さん



レーザー4.7第1位（東京都ヨット連盟会長杯）山田真理歩さん（YMFSジュニアヨットスクール葉山）と入賞者の皆さん



JJYU会長特別賞杯OP級上級者Tom Rebbeckさん（ニュージーランドチーム）



OP級初級者第1位（国土交通大臣杯）加原弦季さん（葉山町セーリング協会）と入賞者の皆さん



国際420級第1位（江東区長杯）上田端さん、松岡尚吾さん（葉山町セーリング協会）と入賞者の皆さん



JJYU会長特別賞杯（レーザー4.7）Grace Stillさん（ニュージーランドチーム）



OP級初級者のレース

第6回ジュニアヨット国際 親善大阪レガッタ

実施報告

はじめに

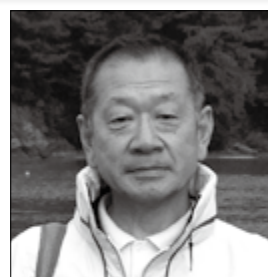
第6回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2019)は昨年に続き、大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー(大阪府貝塚市)において、公益財団法人日本セーリング連盟(以下JSAF)の後援と三起商工株式会社(ミキハウス)の特別協賛、大塚製薬株式会社、株式会社フォーチュンの協賛を得て、大阪府ヨットセーリング連盟と一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ(以下JJYU)の共同主催により、10月20日(日)に開催いたしました。

20日のレース当日は地元の大阪をはじめ、和歌山、兵庫、滋賀、香川、三重、より選手39名の参加があり、OP級上級者クラスに18艇、OP級初級者クラスに21艇の内訳となりました。

開会式

9時より開会式が行われ、伊藤雅宣レガッタ競技運営本部長(JJYU専務理事)の開会挨拶に続き、特別協賛を頂いた三起商工株式会社取締役光川彰夫社長室長、後援のJSAF桑原啓三副会長より選手たちへの激励の挨拶と中川二郎レース委員長(JJYU常務理事)から、大会趣旨や注意事項等の説明がありました。その後、9時50分に出艇許可のクラス旗が掲揚され、OP級上級者クラスよりレース海面へ向かいました。

大会運営本部本部長
一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟
理事 **玉置 純**



レース

競技は、OP級上級者クラスは二色ハーバー沖合い海面で、OP級初級者クラスはハーバー近くの海面で実施しました。

当日は晴天に恵まれ、風もほぼ安定した状態が続き、近くに関西国際空港、遠くには明石海峡大橋を臨む中、選手達にとって絶好のコンディションとなり、日頃の練習の成果を大いに発揮してくれたものと思います。

■OP級上級者

OP級上級者クラスは4レースを実施しました。第1レース開始時3m/s程度の風も最終第4レース時には5m/s前後まで上がりましたが、上位艇は安定した走りを見せており、随所でつばぜり合いが演じられました。風速、風向にあわせコース設定を変えながら、予定通り4レースを行う事ができました。今回のレースで特筆すべき点として、多くの艇がスタートラインをきれいに形成してジャストスタートしており、選手のレベルの高さが窺えました。



伊藤雅宣レガッタ競技
運営本部長の開会挨拶



三起商工株式会社
取締役光川彰夫
社長室長



JSAF
桑原啓三副会長



開会式

レース委員長による大会
趣旨や注意事項等の説明



上マーク回航



下マーク回航後の争い



サイドマーク
ジャイブ!

ほぼ一線のスタート



スタート前の攻防



スタート直前



レース中のシヨット
みんな真剣!



2019年10月20日(日)
大阪府ヨットセーリング連盟
二色ハーバー



大阪府ヨットセーリング連盟
二色ハーバー



岸壁からの応援も

■OP級初級者

OP級初級者クラスは昼休みを挟み7レースを実施する事ができました。ヨットを始めて間もない選手もいた為か、上位の選手との差はありましたが、大きなトラブルも無くレースを終えました。また、フィニッシュラインが観覧スペースとなった堤防近くに設置された為、陸上よりコーチや父兄の選手への大きな声援が響いていました。



スタート



上マーク回航の攻防



表彰式・閉会式、親睦パーティー

全レース終了後、表彰式・閉会式、親睦パーティーを陸上本部前で行いました。最初に大会を共同主催した大阪府ヨットセーリング連盟 岩崎 清彦会長よりご挨拶を頂いた後、表彰式を行いました。

表彰式では、各級の1～3位に金、銀、銅メダルと6位までに表彰状の授与を行うとともに、ミキハウス様より提供頂いた賞品も授与しました。

さらにOP級上級者クラス優勝者の

上原慎平さん(和歌山ジュニアヨットクラブ)にはクリスタルガラス製ミキハウス優勝カップ(持回り)が授与されました。

また、OP級初級者クラス優勝はB&G高松海洋クラブの齋藤 翼さん、クラブ対抗レース優勝(海外セーリング研修への参加資格授与)はB&G高松海洋クラブとなりました。

さらに成績には恵まれませんでした、レースで敢闘した選手に協賛を頂いた株式会社フォーチュン様の賞品を同社マネージャーの中川秀男様より授与しました。

その後、高間博之プロテスト委員長(JJYU 理事) からレース講評があり、表彰式を終えました。

表彰式後のパーティーでは大阪府ヨットセーリング連盟の皆様による、心づくしの料理が供され、選手を始めとする参加者一同が舌鼓を打ちました。

最後に本大会にご協力頂いた全ての関係者に感謝申し上げるとともに、来年の大会がより多くの参加者を得て充実したものとなるようご協力を重ねてお願いして、報告とさせていただきます。



表彰式・閉会式



大阪府ヨットセーリング連盟岩崎清彦会長



高間博之プロテスト委員長のレース講評



恒例の
じゃんけん大会



パーティー風景



みんなで記念撮影



株式会社フォーチュン、マネージャーの中川秀男様と敢闘賞の皆さん



OP 級初級者クラス
優勝の齋藤 翼さん
(B&G 高松海洋クラブ)
と入賞の皆さん



OP 級上級者優勝の上原慎平
さん(和歌山ジュニアヨット
クラブ)と入賞の皆さん



クラブ対抗レース優勝の B&G 高松海洋クラブ



第5回ジュニアヨット国際 親善大阪レガッタ

MIKI HOUSE

実施報告

はじめに

昨年は諸般の事情により中止となったジュニアヨット国際親善大阪レガッタですが、本年は開催場所を大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー(大阪府貝塚市)に変更し、公益財団法人日本セーリング連盟(以下JSAF)の後援と三起商工株式会社(ミキハウス)の特別協賛、大塚製薬株式会社、株式会社フォーチュンの協賛を得て、大阪府ヨットセーリング連盟と一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ(以下JJYU)の共同主催により、10月21日(日)に第5回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2018)として開催いたしました。

地元の大阪をはじめ、和歌山、兵庫、香川より選手34名の参加があり、OP級上級クラスに15艇、OP級初級クラスに19艇の内訳となりました。



伊藤雅宣レガッタ
競技運営本部長



三起商工株式会社
光川彰夫取締役

開会式

9時より開会式が行われ、伊藤雅宣レガッタ競技運営本部長(JJYU専務理事)、特別協賛を頂いた三起商工株式会社取締役光川彰夫社長室長より選手たちへの激励の挨拶があり、後援のJSAF桑原啓三副会長からもご挨拶を頂きました。
中川二期レース委員長(JJYU常務理事)から、レガッタの趣旨や注意事項等の説明があり、その後各艇出艇しレース海面へ向かいました。



大会運営本部本部長
一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟
理事 **玉置 純**

レース

競技は、OP級上級クラスは二色ハーバー沖合い海面で、OP級初級クラスは防波堤の直ぐ前のハーバー近くの海面で実施しました。

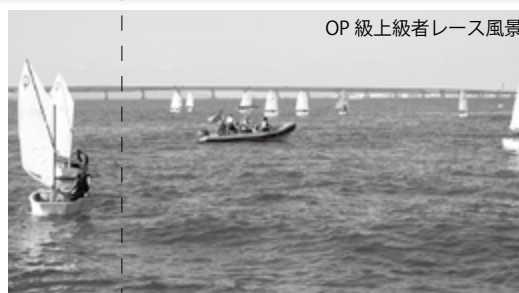
当日は晴天に恵まれ、風もほぼ安定した状態が続き、近くに関西国際空港、遠くには明石海峡大橋を臨む中、選手達にとって絶好のコンディションとなり、日頃の練習の成果を大いに発揮してくれたものと思います。

上級者クラスは最終レース終了までハーバーには戻らず、4レースを実施しました。

第1レース開始時4ノット程度の風も最終第4レース時には8~10ノットまで上がりましたが、上位艇は安定した走りを見せており、随所でつばぜり合いが演じられました。抗議等もありましたが予定通り4レースを行う事ができました。

初級者クラスは昼休みにはハーバーに戻りながらも6レースを消化する事ができました。コースを間違い順位を落と

OP級上級者レース風景



OP級初級者レース風景



ドローンで撮った
OP級上級者のスタート風景



す選手もいましたが、大きなトラブルも無くレースを終えました。また、フィニッシュラインが観覧スペースとなった防波堤近くに設置された為、陸上よりコーチや保護者の選手への大きな声援が響いていました。

このレガッタでは、大阪府ヨットセーリング連盟の皆さんがドローンでのレース撮影をされて、当連盟のHPにもアップさせて頂く事が出来ました。

揺れる船のうえで巧みに
ドローンをコントロール



会場となった二色ハーバー

中川二期レース委員長



OP級上級者のスタート

OP級初級者レース風景



表彰式・閉会式、親睦パーティー

全レース終了後、表彰式・閉会式も兼ねた、親睦パーティーを陸上本部前で行いました。

レガッタを共同主催した大阪府ヨットセーリング連盟岩崎清彦会長よりご挨拶を頂いた後、表彰式を行いました。

表彰式では、各級の1～3位に金、銀、銅メダルと6位までに表彰状の授与を行うとともに、ミキハウス様、フォーチュン様より提供頂いた副賞の賞品も授与しました。

さらにOP級上級優勝者の兵庫県セーリング連盟の菅野響さんにはクリスタルガラス製ミキハウス優勝カップ（持回り）が授与されました。また、OP級初級優勝は和歌山ジュニアヨットクラブの岸伶大さん、クラブ対抗レース優勝（海外セーリング研修への参加資格授与）は和歌山ジュニアヨットクラブとなりました。

最後に、高間博之プロテスト委員長（JJYU 理事）からレース講評があり、表彰式を終えました。

親睦パーティーでは、大阪府ヨットセーリング連盟の皆様による、心づくしの料理が供され、選手を始めとする参加者一同が舌鼓を打ちました。

OP級上級者優勝の菅野響さん
（兵庫県セーリング連盟）と
上位入賞の選手たち



大阪府ヨットセーリング連盟
岩崎 清彦会長



OP級初級者優勝の岸伶大さん（和歌山ジュニアヨットクラブ）と
上位入賞の選手たち



クラブ対抗レース優勝の和歌山ジュニアヨットクラブ

須長 由季選手と恒例の
ジャンケンゲーム



親善交流パーティー

親善パーティーでは
美味しいメニューが
盛りだくさん



須長 由季選手よりご挨拶

385-- 写真がありません。



大阪府ヨットセーリング連盟の皆様、どうもありがとうございました。

第7回

ジュニアヨットクラブジャンボリー2019

実行委員長一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟 葛西信一

天王崎公園本部テント



湖上から天王崎公園を望む



開会式：
右から伊藤 JJYU 専務理事、
鈴木行方市長、
内田麻生ヨットクラブ代表

はじめに

第7回目を迎えたジュニアヨットクラブジャンボリーは、令和元年5月3日～5日、茨城県行方市の霞ヶ浦天王崎公園を会場とし、茨城県立白浜少年自然の家に宿泊して開催いたしました。今年も、①共同生活により青少年の心身の育成を図る、②環境保全を目的として、自然と親しみ維持していく、③2泊3日の共同活動にて、たくさんの友達をつくろう、④保護者・コーチの交流を深める、を目的と狙いに掲げ、茨城県セーリング連盟に加え、天王崎公園を活動拠点にしている麻生ヨットクラブの多大なるご協力と、地元行方市のご後援をいただき、楽しく充実した3日間の活動を無事に終了することができました。

葉山町セーリング協会、横浜ジュニアヨットクラブ、夢の島ヨットクラブ、三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブ、NPO 法人横須賀ヨット協会ジュニアヨットクラブの5チームより選手12名(男性7名、女性5名)、指導者・保護者16名、付添5名、日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下 JJYU) 関係者7名、総勢40名にご参加いただきました。

5月3日

五月晴れの爽やかな初日でした。10:00に天王崎公園の麻生ヨットクラブハーバー内の砂浜において、行方市の鈴木市長にご臨席いただき開会式を開催しました。鈴木市長からは、今年の茨城国体において行方市はゲートボールとビーチハンドボールの会場になること、そして霞ヶ浦ではセーリング競技が行われるとのことがありました。

開会式に引き続き、オリエンテーリングを実施しました。麻生ヨットクラブの岡里様より運営スタッフの紹介に続き、霞ヶ浦は水泳ができるくらいに水がきれいなこと、水域には定置網



クルーザー(定員8名、観覧艇)



レイク(定員6名、Bチーム)



ゴムボート(定員4名、連絡など)



本部船(定員6名、Aチーム)



ヤマハ(定員6名、海上本部)

があちこちに仕掛けてあるので気をつけてほしいなどのお話がありました。続いて JJYU 中川常務理事から、A、Bのチーム分けと活動内容の説明、各チームの担当コーチの紹介があり、チームに分かれてのミーティングを行いました。

開会式終了後に昼食を取ったところで風も吹き出してきました。各自機装を整え、チーム毎に活動を開始しました。運営艇については、麻生ヨットクラブから4艇、B&Gから1艇をお借りし、活動をサポートしました。水辺のスポーツの楽しさを体験し楽しい思い出をたくさん持ち帰っていただくことを目的に、体験メニューも、カヌー、SAP、水上バイク、ジェットボートと盛りだくさんに用意しました。子供たちが湖上の活動に出かけたあとは、保護者の皆様が早速カヌーでスイスイと湖上を走りまわっていました。

15:30に活動を切り上げて後片づけを済ませて、宿泊施設である茨城県立白浜少年自然の家に各自車で移動しました。到着後の入所式では、自分のことは自分で行う、使用したものはきちんと片付ける、他の利用者にも気遣いをするなど、共同生活を送る際の注意事項や寝具の管理などについて担当者の方から説明を受けました。その後に部屋割りの発表があり、各自荷物をもって部屋に向かいました。17時にみんな揃っての夕食、18時に入浴、19時からのミーティングでは、JJYU 中川常務理事より「団体生活では早めの行動を心がけることが大切。1人でも約束の時間に遅れると皆を待たせることになる。1人が1秒遅れただけで団体メンバー全員では大きな時間の無駄になる」とのお話がありました。22時に消灯し就寝です。



入所式



皆で食べる食事の味は格別



夜のミーティング、昼の活動の疲れが出る頃です



みんなで記念撮影



Aチーム練習風景

爽やかな朝日をあびて元気にラジオ体操



一日元気で活動できるようにしっかり朝食をたべようね

5月4日

6時半に起床、つどいの広場でラジオ体操の後、朝食を摂り、各自準備を整えて天王崎公園の麻生ヨットクラブハーバーに向かいました。2日目も晴れ渡る空に心地よい風の吹く絶好の活動日和、雄大な水面が広がる霞ヶ浦に到着しました。この日は午前中にカヌーやSAPそして水上バイクなどの体験をしてもらうことにしました。カヌーの体験では、指導員の方からパドルングの基本から教えてもらい、早速湖上にこぎ出していました。

体験メニューで特に人気だったのが水上バイクでした。OPとはケタ違いのスピードで水上を走りまわるバイクに、子供たちは目を輝かせて自分の順番が来るのを待っていました。お昼のお弁当を食べたあとは、チームに分かれて湖上での練習を行いました。この日の風は3m前後でBチームにとっても練習にはもってこいのコンディション。15時半の終了時刻まで、充実した活動を行うことができました。白浜少年自然の家に戻り夕食そして入浴をすませ、19時からお待ちかねのキャンプファイヤーがはじまりました。まずは「火の神」と「火の守」が登場し、手にしたトーチから積み上げられた薪に点火するとあたりが明るく幻想的にかげあがります。「お菓子の神」も登場し参加者におやつを配って歩きます。参加クラブが順番に自己紹介を行い、最後に葉山町セーリング協会のメンバーがおなじみのタックダンスを披露しました。その後、20時からミーティング、20時半から指導者講習会を行いました。

A チーム練習風景



B チーム練習風景



B チーム練習風景



SAP 体験



スピード感がケタ違いジェットボート



保護者に人気のセーリング体験



一番人気は水上バイクでした

5月5日

この日も6時半に起床、出発の準備や寝具の片付け、部屋の掃除などを行い、ラジオ体操、朝食、退所式と続き、麻生ヨットクラブハーバーに向けて出発、9時半にミーティング。最終日も天気は快晴となりましたが、風は微風で湖上での活動ができるかどうかは微妙な状態でした。この日はレースの予定で、10時にはまずAチームが出艇。しばらく風待ちをしましたがコンディションは回復せず、早々に全艇ハーバーにバックとなり、帰着後は各自後片付けを行いました。お昼はおなじみのカレーの昼食。おなかを空かせた子供たちは美味しそうにカレーを食べていました。

満腹になったところで、今回の目玉イベントのひとつ「イチゴ狩り」の時間になりました。各自収穫したイチゴを入れる容器をもって、歩いて10分ほどのビニールハウスに向かいました。栽培農家の永作さんから説明を受けた後、早速ハウス内で30分間取り放題のイチゴ狩りがスタート。あっという間に指定された畝のイチゴをほぼ取りつくし、美味しい摘みだてのイチゴを味わい、大人も子供も満足そうな笑顔でした。14時から閉会式を行いました。麻生ヨットクラブを代表して小峰実様より「参加者のみなさんのヨットの技術が大変高いことに驚きました。ここ天王崎はヨットを楽しむのには最適な場所ですので、いつでも気軽にお越しください。来年もお会いできることを期待しています。」とのご挨拶をいただきました。成果発表では、遠方より参加してくださった三重県ヨット連盟や



火の神と火の守りが登場



いよいよ点火



かわいいお菓子の神様も登場しました



A チーム夜のミーティング



B チーム夜のミーティング

活動前のミーティング



カレーの準備が出来ました



閉会式

頑張ったお父さんに特別賞が贈られ、コーチとして活動を支えてくださった後関さん、橘さんのお二人にも記念品をお渡ししました。最後に参加賞をめぐってじゃんけん大会で盛り上がり、楽しかった3日間のジャンボリーが幕を閉じました。

麻生ヨットクラブ小峰実様のご挨拶



じゃんけん大会で盛り上がりました



イチゴがたくさん採れてよかったね

2018年度海外セーリング研修報告ーパース

一般社団法人 日本ジュニアヨット連盟 理事 小野澤 秀典



パース港のフェリー発着ターミナルにて。左から、小山すみれさん、石井瑛太さん、松岡尚吾さん、伊丹大登さん、肥後滉佑さん、川北創一さん



早速プールで大はしゃぎ



RYCクラフトハウスランチ



チャーター艇のフィッティング



レースの受付。RPYSのご機嫌な帽子をもらいました

はじめに

2018年1月31日(木) から2月5日(火) の6日間、伊丹大登さん、川北創一さん、石井瑛太さん(B&G 高松海洋クラブ)、松岡尚吾さん、肥後滉佑さん(葉山町セーリング協会)、小山すみれさん(江東区立小中学校セーリング部)6名の子供たちと、保護者の方2名、私の計9名で、パース(オーストラリア)の海外研修に行っていました。ロイヤルパースヨットクラブ(RPYC)の協力のもと、クラブメンバー宅にホームステイし、RPYC ミニシリーズのレース参加、パース観光など子供たちにとってとても貴重な経験を得ることができました。

1月31日(木)

子供たちは早朝にパース空港に着いたので、Andrewさんの出迎えて、彼のお宅に行って朝食をいただき、その後プールで楽しく遊びました。午後からはRPYCに行ってお世話になるホストファミリーと面会し、それぞれのホームと一緒に連れられて帰って行きました。

2月1日(金)

前日の長い飛行機旅の疲れもあり、朝はゆっくり

りとして10時にクラブハウスに集合、昨日ジャンケンで決めたチャーター艇6隻のフィッティングを行いました。お昼頃、北風から南西のシーブリーズに変わるときに突風が吹くとの情報もあり、ゆっくりと昼食。ホストファミリーのお母さん方に作っていただいたハムサンド、フルーツ、ココナツケーキをいただきました。午後は出艇してセーリング練習を行いました。レーザー4.7の2隻、OPの4隻で、ローリング、スピード練習、コース練習を行いました。夕方に戻り、明日からのレースの受付をしました。

2月2日(土)

今日からRPYC ミニシリーズのレースです。8時にクラブハウスに集合、セッティングを済ませて艇長会議に参加しました。午前中は15ノットの南西風だが、午後からは20ノットオーバーの強風になるとのこと。エントリーは140隻、OPとオープンビックがそれぞれ2クラス、レーザーがスタンダード、ラジアル、4.7、マスターの4クラス、29er、420、フィン、テザー、サブリーナ、ハンザリパティ、ハンザ303、ナクラ15、ミラーディンギーなどなど、多くの艇種が参加します。

我々が参加したOPオープンとレーザー4.7は午前中に3レースを消化しました。しかし、3レース目は20ノットの強風になったこともあり、高松から参加の創一さんと瑛太さんが第3

沈艇続出のサバイバルレース



お昼のご馳走サンドイッチ



レーザー4.7の大登さんとすみれさんのスタート



トップフィニッシュの滉佑さん



レーザー4.7、2位フィニッシュの大登さん



選手全員でお礼のご挨拶



本場?のフィッシュ&チップス

空港にて、お世話になったMichaelとRayと記念撮影



表彰式のあと、みんなで記念撮影

レースをリタイア、他の選手は数回沈しました。ランチャタイムで一旦帰着し、美味しいサンドイッチのご馳走をいただいていたところで笛が鳴り、午後のレースの中止が知らされました。

2月3日(日)

レース最終日は、昨日の強風の影響が残る南の風が20ノット近くで、瑛太さんだけは小学生で体力的なこともあり、午前中に出艇は取り止めたが、他の5選手は頑張ってお出しました。OPオープン、レーザー4.7ともに午前中強風の3レース、午後は幾分落ちた6~8m/sの風で1レースを行い、合計4レースを行いました。その中で、葉山チームの滉佑さんが、今日最初の第4レースで見事1位、また、尚吾さんは第5レースで4位、大登さんはレーザー4.7第4レースで2位の活躍を見せました。午後5時からの表彰式では、選手全員を紹介して、大会運営者とホストファミリーと一緒にレースをした仲間にお礼を伝えました。終了後には、ディンギークラブハウスの前で、プレゼントをレースに参加したRPYCの約30名の子供達に渡して、一緒に記念撮影を行いました。

2月4日(月)

今日はフリーマントルのマリタイムミュージアム見学と観光です。ミュージアムの中での写真撮影は禁止ですので紹介はできませんが、キャブテックの時代からアメリカズカップの勝利、近年のいろいろなディンギーヨットを見て、そして潜水艦の見学ツアーに感激したようでした。

遅くなったランチを近くの漁港のシーフードレストランに行き、本場のフィッシュ&チップスを美味しくいただきました。すっかり堪能して時間がなくなってしまい、買い物は明日に回してリパークルーズでスワンリバーを登って、丁度5時にパース港に到着しました。

2月5日(火)

最終日の今日はお買い物デーです。9時30分にホテルに集合して、お土産屋などのあるアウトレットモールのウォータータウンに歩いて向かい、2時間をかけてお土産品のTシャツや小物入れ、ぬいぐるみ、キーホルダー、ボールペンなどを中心に買いました。一旦ホテルに戻り、午後3時に空港に到着、楽しかった思い出を胸に出国ゲートをくぐりました。



地下鉄のプラットフォームで



さあ、買い込んだぞー



2018年度海外セーリング研修報告—オークランド

左から、尾崎友太さん、上田瑞さん、浅野蒼さん、上原慎平さん、河野壘さん、岩下稔さん、勝田実莉さん、内田歩さん、矢野葉菜さん、中山裕文さん



一般社団法人 日本ジュニアヨット連盟 理事 野村 泰造

はじめに

2018年2月5日(火)から12日(火)の8日間、オークランド(ニュージーランド)の海外研修に行っていました。今年も、当クラブと長年の交流があるStephen Wagstaff氏、RAYC(ロイヤルアカナヨットクラブ)及びKYC(コヒマラマヨットクラブ)の協力のもと、クラブメンバー宅にホームステイし、KYC主催のレガッタに参加するという貴重な体験ができました。

中山裕文さん、勝田実莉さん(B&G高松海洋クラブ)、河野壘さん、岩下稔さん(B&G別府海洋クラブ)、尾崎友太さん、浅野蒼さん、内田歩さん、上田瑞さん(葉山町セーリング協会)、矢野葉菜さん、上原慎平さん(和歌山ジュニアヨットクラブ)ら10名の選手に、保護者の方3名、JJYUからは小野澤理事、佐藤理事と私野村の3名が参加しました。

2月5日(火)

成田空港第一ターミナル南ウイング16時に集合、19時定刻に離陸して直ぐに食事、気がついた時には殆どの選手が熟睡していました。

2月6日(水)

10時間のフライトで朝9時にオークランド空港に降り立ち、出迎えのStephenさんと小野澤さんと会う事が出来ました。昼食後は、時間に余裕があるのでNZマリンタイムミュージアムを見学しアメリカスカップ艇の前で記念撮影。その後RAYCに移動してホストファミリーとの顔合わせ。みんな少し緊張した面持ちでクラブハウスをあとにしました。

アメリカスカップ艇の前で記念撮影

ホストファミリー宅へ

機装完了!



ニュージーランドの海での初乗り

2月7日(木)

7日は、朝9時にRAYCに集合。睡眠不足と狭い飛行機の中の疲れもとれたようで、活き活きとして集まりました。今日は、RSのQuest(4人乗り)とFever(3人乗り)2隻の3隻に分乗してニュージーランドの海で初乗りです。昼食はミッシュンベイで念願のフィッシュ&チップス、自分の顔ぐらいの大きさのフィッシュフライに超驚きでした。

昼食後はウエストヘヴンのセーリングショップでアメリカスカップの記念グッズやセーリングウェアなど、その後近くのスーパーマーケットで食材や飲み物を買いました。夜は日没の遅い(8時まで明るい)オークランドの夏をホストファミリーと楽しく過ごしているようです。



フィッシュ&チップスのランチ

2月8日(金)

今日はレース前日の練習日です。曇り気味の空模様でしたが、徐々に晴れ間が広がり最高のセーリング日和となりました。9時にKYCに集合、チャーターした10艇を、ビーチに運んで、ジャンケンで艇を決めて機装、11時から13時半まで、コーチボートのまわりを回るローリング練習から、長いログでのスピード練習、タック・ジャイブ練習、スタート練習をみっちり行いました。お昼は岸に戻り、同行の3人のお母さんの手作りのサンドイッチを美味しくいただきました。午後は、ロイヤルニュージーランドヨットスコ



ホストファミリーと



出艇前

艇長会議



ビーチリザーブレイグランド



レース風景



ドロ(RNZYS) のクルーザーオーナーに誘われてトワイライトレースに出場する3名(選手二人とお母さん)と一緒に、全員でRNZYSに行き、実物のアメリカスカップを見たり、クラブショップでお土産のクラブシャツや小物などを購入していました。

2月9日(土)

いよいよレースの日を迎えました。300隻以上が参加するビッグレースです。レースに参加するホームステイの子供たちも一緒に朝9時にKYCに集合、フィッティングを行い、10時からの艇長会議に参加しました。我々の選手が参加するOPオープン79隻のエントリーになりました。海上は、東からの風6m/sがコンスタントに吹いて、絶好のレース日和、途中前線通過もありましたが回復し、4レースが行われて16時に全艇が潮の曳いた砂浜に戻ってきました。

2月10日(日)

レース2日目も天気は晴れ、風は昨日より落ちて4~5m/sの順風のレース日和になりました。10時過ぎに出艇のBフラッグが上がり、第5レースから第7レースの3レースが順調に実施されました。瑞さんが第5レースで追いついて8位

でフィニッシュ、総合7位、慎平さんが第7レースで第1上を3位で回りフィニッシュ10位、総合13位と大活躍でした。他の選手は、総合で裕文さんが29位、実莉さん39位、壘さん41位、実莉さん43位、歩さん46位、葉菜さん52位、蒼さん54位、友太さん74位でした。午後5時からの表彰式ではお土産を渡し、感謝の言葉を述べました。終了後は、無料でお借りしたOPをきれいに洗って返却し、トレーラーに積み込んでレースは終了しました。

2月11日(月)

楽しかった研修も最終日です。朝8時半にRAYCに集合し、子供達10人と指導者2名はミニバスでノースショアのタカブナに行って、ビーチリザーブレイグランド(公園)で、いろいろな玩具で楽しく遊びました。お昼には近くにあるヨットینگニュージーランド(YNZ)の本部に行き、代表のDavid他の皆さんにお礼を伝え、ニュージーランドセーリング連盟との引き続きの連携について話をさせていただきました。その後、楽しみにしていたニュージーランド最大級のシルビアパークショッピングセンターに行って、遅めの昼食をいただいて、ショッピングを楽しみました。明日は早朝のフライトで日本に帰ります。



最後のランチ

レース風景

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2019 成績				2019年8月2日～4日				東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所											
OP 級上級者 参加定数 45 艇																			
順位	セール No.	選手名	レース	1R		2R		3R		4R		5R		6R		7R		合計	
			Club	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点		
1	3352	重松 陽	夢の島ヨットクラブ	1	1	1	1	5	5	6	6	2	2	1	1	1	1	11	
2	3176	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	2	2	2	2	RET	46	1	1	1	1	10	10	2	2	18	
3	3365	中島 拓海	横浜ジュニアヨットクラブ	13	13	11	11	4	4	2	2	3	3	5	5	7	7	32	
4	3363	松原 啓悟	江東区立小中学校セーリング部	4	4	7	7	9	9	8	8	4	4	22	22	3	3	35	
5	4712	Tom Rebbeck	New Zealand ニュージーランド	3	3	5	5	7	7	3	3	16	16	8	8	12	12	38	
6	3345	宮本 あかり	夢の島ヨットクラブ	27	27	4	4	1	1	4	4	9	9	7	7	15	15	40	
7	4562	George Cole-Baker	New Zealand ニュージーランド	10	10	8	8	6	6	11	11	5	5	6	6	6	6	41	
8	202	HUJHAU-EN	Taiwan 台湾	8	8	25	25	17	17	12	12	17	17	2	2	5	5	61	
9	3362	北浦 菜月	江東区立小中学校セーリング部	16	16	16	16	3	3	7	7	12	12	13	13	11	11	62	
10	3242	北浦 州陽	江東区立小中学校セーリング部	5	5	13	13	8	8	16	16	13	13	9	9	19	19	64	
11	3361	西田 帆七	葉山町セーリング協会	17	17	3	3	2	2	5	5	10	10	UFD	46	29	29	66	
12	3168	三谷 帆澄	葉山町セーリング協会	22	22	12	12	15	15	18	18	18	18	3	3	4	4	70	
13	3359	青山 若生	葉山町セーリング協会	7	7	15	15	13	13	17	17	11	11	16	16	23	23	79	
14	3184	菅野 響	WW ユースセーリング	18	18	20	20	12	12	13	13	UFD	46	12	12	9	9	84	
15	3109	矢吹 優喜	横浜ジュニアヨットクラブ	15	15	17	17	11	11	10	10	23	23	11	11	22	22	86	
16	201	WANG KUAN-CHIH	Taiwan 台湾	20	20	22	22	10	10	9	9	7	7	UFD	46	20	20	88	
17	3093	川北 倉一	B&G 高松海洋クラブ	6	6	23	23	DNF	46	DNF	46	6	6	4	4	16	16	101	
18	3301	森居 昴太郎	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	11	11	10	10	18	18	DNF	46	29	29	24	24	14	14	106	
19	463	HWANG GA YOUNG	South Korea 韓国	25	25	6	6	19	19	20	20	19	19	19	19	26	26	108	
20	740	Adam Hindmarsh	Australia オーストラリア	9	9	19	19	14	14	15	15	UFD	46	UFD	46	10	10	113	
21	3303	三谷 帆風	葉山町セーリング協会	21	21	18	18	16	16	14	14	20	20	32	32	33	33	121	
22	3284	松岡 拓飛	江東区立小中学校セーリング部	12	12	14	14	DNF	46	DNF	46	22	22	14	14	18	18	126	
23	3305	内田 歩	葉山町セーリング協会	14	14	34	34	20	20	21	21	21	21	23	23	36	36	133	
24	3373	チャーチ 海	葉山町セーリング協会	26	26	24	24	21	21	19	19	27	27	31	31	27	27	144	
25	3296	嘉手川 湮帆	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	23	23	21	21	DNF	46	DNF	46	15	15	17	17	28	28	150	
26	3170	土屋 颯策	葉山町セーリング協会	30	30	41	41	22	22	DNF	46	8	8	30	30	30	30	161	
27	2890	尾崎 友太	葉山町セーリング協会	34	34	29	29	DNF	46	DNF	46	25	25	20	20	8	8	162	
28	3302	佐藤 直輝	葉山町セーリング協会	40	40	38	38	26	26	DNF	46	26	26	21	21	17	17	168	
29	802	Yu chien hui	Taiwan 台湾	37	37	26	26	DNF	46	DNF	46	28	28	15	15	21	21	173	
30	487	SEO JI WON	South Korea 韓国	19	19	9	9	DNF	46	DNF	46	UFD	46	UFD	46	13	13	179	
31	3220	山口 悠史	宜野湾はごろも海洋少年団	24	24	36	36	24	24	DNF	46	35	35	26	26	37	37	182	
32	3372	松岡 達也	葉山町セーリング協会	33	33	27	27	27	27	DNF	46	30	30	28	28	38	38	183	
33	2992	上田 舞花	葉山町セーリング協会	35	35	39	39	DNF	46	DNF	46	14	14	27	27	31	31	192	
34	3360	左近 麗咲子	葉山町セーリング協会	29	29	30	30	DNF	46	DNF	46	34	34	34	34	25	25	198	
35	3096	神田 清琉	夢の島ヨットクラブ	36	36	31	31	DNF	46	RET	46	32	32	18	18	39	39	202	
36	3291	大桃 悠汰	江東区立小中学校セーリング部	28	28	32	32	25	25	DNF	46	36	36	UFD	46	35	35	202	
37	3175	荒木 健香	江東区立小中学校セーリング部	32	32	33	33	RET	46	DNF	46	24	24	36	36	42	42	213	
38	801	LIN, LE	Taiwan 台湾	38	38	28	28	DNF	46	DNF	46	UFD	46	25	25	40	40	223	
39	2892	下平 凱士	葉山町セーリング協会	42	42	43	43	DNF	46	DNF	46	31	31	35	35	32	32	229	
40	462	SEO JI SOO	South Korea 韓国	31	31	35	35	DNF	46	DNF	46	UFD	46	29	29	BFD	46	233	
41	3346	柏木 南帆	WW ユースセーリング	41	41	37	37	23	23	DNF	46	UFD	46	UFD	46	41	41	234	
42	723	Adam Mcaulay	Australia オーストラリア	39	39	40	40	DNF	46	DNF	46	UFD	46	UFD	46	24	24	241	
43	3304	三浦 海漣	葉山町セーリング協会	43	43	42	42	RET	46	RET	46	33	33	37	37	44	44	245	
44	3306	北岡 洩	葉山町セーリング協会	44	44	DNF	46	DNC	46	DNC	46	UFD	46	33	33	34	34	249	
45	3388	星野 蘭	石垣ジュニアヨットクラブ	45	45	44	44	DNF	46	DNF	46	37	37	UFD	46	43	43	261	

OP 初級者 参加艇数 16 艇																														
セー ル No.	選手名	所属クラブ	予選 G	予選 R1		予選 R2		予選 R3		予選 R4		予選 R5		予選 R6		予選成績		シルバー R1		シルバー R2		シルバー 成績		ゴールド R1		ゴールド R2		最終順位		
				着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	合計	順位	着順	得点	着順	得点	合計	順位	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Score 得点	Final Result 最終成績	
2967	加原 弦季	葉山町セーリング協会	4					1	1	3	3			1	1	5	1								1	1	1	1	2	1
2545	中野 瑠一	石垣ジュニアヨットクラブ	3			1	1	2	2			2	2			5	2								2	2	5	5	7	2
3302	太田 龍之介	葉山町セーリング協会	3			6	6	4	4			3	3			13	7								8	8	2	2	10	3
2139	松井 清真	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	4					7	7	7	7			6	6	20	15	1	1	1	1	2	1		4	4	6	6	10	4
2608	牧野 夏希	葉山町セーリング協会	2	2	2	2	2							4	4	8	4								3	3	8	8	11	5
2968	青山 佑友	葉山町セーリング協会	1	6	6					6	6	1	1			13	6								9	9	3	3	12	6
90	矢吹 美樹	横浜ジュニアヨットクラブ	2	5	5	7	7							7	7	19	14	2		2	2	2	4	2	10	10	4	4	14	7
2990	近重 幸士朗	江東区立小中学校セーリング部	4					3	3	1	1			2	2	6	3								7	7	7	7	14	8
2905	小林 瑠果	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	2	3	3	4	4							8	8	15	9	3	3	5	5	8	3		5	5	10	10	15	9
2796	西澤 有咲	横浜ジュニアヨットクラブ	1	1	1					4	4	4	4			9	5								6	6	9	9	15	10
03	三浦 太輝	夢の島ヨットクラブ	1	4	4					5	5	5	5			14	8								11	11	11	11	22	11
14	川北 智大	B&G 高松海洋クラブ	3			3	3	6	6			6	6			15	10	6	6	3	3	9	4							12
3262	平良 海咲	宜野湾はごろも海洋少年団	4					5	5	8	8			5	5	18	13	5	5	4	4	9	5							13
2135	小林 俊介	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	1	7	7					2	2	7	7			16	11	4	4	6	6	10	6							14
335	渡辺 ひかる	夢の島ヨットクラブ	2	8	8	5	5							3	3	16	12	DNC	7	DNC	7	14	7							15
3304	佐々木 伯	葉山町セーリング協会	3			DNC	9	DNC	9			DNC	9			27	16	DNC	7	DNC	7	14	7							16

レーザー4.7 参加艇数 9 艇																		
順位	セーリング No.	選手名	レース	1R		2R		3R		4R		5R		6R		7R		合計
			Club	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	
1	175164	山田 真理歩	YMFS ジュニアオYSTスクール葉山	3	3	1	1	4	4	4	1	1	5	5	2	2		15
2	209508	荒木 智也	ユースチーム東京	4	4	3	3	1	1	1	1	4	4	4	4	4	4	17
3	195542	Grace Still	New Zealand ニューゼーランド	2	2	7	7	6	6	5	5	3	3	1	1	1	1	18
4	196492	小山 すみれ	江東区立小中学校セーリング部	5	5	2	2	3	3	3	3	7	7	2	2	8	8	22
5	202603	落合 創太	ユースチーム東京	1	1	4	4	7	7	6	6	2	2	UFD	10	3	3	23
6	202725	Lili McAullay	Australia オーストラリア	6	6	6	6	2	2	2	2	5	5	6	6	5	5	26
7	185356	岡野 祐大	WW ユースセーリング	7	7	5	5	DNS	10	7	7	6	6	3	3	6	6	34
8	69821	末吉 源	江東区立小中学校セーリング部	RET	10	DNC	10	5	5	RET	10	9	9	8	8	7	7	49
9	147470	三浦 航汰	ユースチーム東京	8	8	8	8	DNF	10	DNF	10	8	8	7	7	9	9	50

国際 420 級 参加艇数 6 艇																		
順位	セール No.	選手名	レース	1R		2R		3R		4R		5R		6R		7R		合計
			Club	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	
1	53840	上田 瑞 / 松岡 尚吾	葉山町セーリング協会	1	1	1	1	2	2	1	1	DNF	7	3	3	3	3	11
2	55217	永嶋 杏樹 / 村上 紗也・林 侑珠	日本橋高等学校	UFD	7	5	5	1	1	2	2	1	1	4	4	4	4	17
3	55827	肥後 混介 / 浅野 蒼	葉山町セーリング協会	UFD	7	3	3	6	6	3	3	3	3	1	1	1	1	17
4	54534	上條 久美子 / 池田 ももか	江東区立小中学校セーリング部	UFD	7	2	2	5	5	4	4	2	2	2	2	2	2	17
5	54625	飯塚 竜士 / 富永 晏吏	江東区立小中学校セーリング部	UFD	7	6	6	4	4	5	5	RET	7	5	5	5	5	32
6	55052	久保 有慧 / 斎藤 凜人・辻谷 勇輝	日本橋高等学校	UFD	7	4	4	3	3	RET	7	DNC	7	DNC	7	DNC	7	35

国内 順位	国際交流 順位	水域	クラブ名	参加艇数	ベスト3の得点				評価点			合計
					1	2	3	小計	3艇以上 (-)	3艇以下 (+)	遠隔地	
1	1	関東	葉山町セーリング協会	22	1	1	3	5	5	0	0	0
2	2	関東	夢の鳥ヨットクラブ	6	1	2	6	9	3	0	0	6
3	3	関東	江東区立小中学校セーリング部	11	4	4	4	12	5	0	0	7
4	4	関東	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	6	1	4	9	14	3	0	0	11
	5	海外	New Zealand ニュージーランド	3	3	5	7	15	0	0	1	14
5	6	関東	ユースチーム東京	3	2	5	9	16	0	0	0	16
6	7	関東	横浜ジュニアヨットクラブ	4	3	7	15	25	1	0	0	24
	8	海外	Taiwan 台湾	4	8	16	29	53	1	0	1	51
7	9	関東	都立日本橋高等学校ヨット部	2	2	6	0	8	0	45	0	53
8	10	大阪	WW ユースセーリング	3	7	14	41	62	0	0	1	61
	11	海外	Australia オーストラリア	3	6	20	42	68	0	0	1	67
9	12	四国	B&G 高松海洋クラブ	2	12	17	0	29	0	45	1	73
10	13	九州	宜野湾はごろも海洋少年団	2	13	31	0	44	0	45	1	88
	14	海外	South Korea 韓国	3	19	30	40	89	0	0	1	88
11	15	九州	石垣ジュニアヨットクラブ	2	2	45	0	47	0	45	1	91



第6回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2019)成績 2019年10月20日(日) 大阪府ヨットセーリング連盟 二色ハーバー

OP 級上級者 参加艇数 18 艇												
順位	セーラー No.	選手名	所属クラブ	1R		2R		3R		4R		合計得点
				着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	
1	3131	上原 慎平	和歌山ジュニアヨットクラブ	2	2	1	1	1	1	2	2	6
2	3275	中山 裕文	B&G 高松海洋クラブ	1	1	2	2	6	6	1	1	10
3	3110	嶋倉侑司	真野浜セーリングクラブ	3	3	6	6	3	3	4	4	16
4	3251	酒巻 佑成	B&G 高松海洋クラブ	5	5	3	3	4	4	5	5	17
5	3093	川北 創一	B&G 高松海洋クラブ	4	4	4	4	5	5	6	6	19
6	3254	旭 夏希	B&G 高松海洋クラブ	6	6	14	14	2	2	3	3	25
7	3250	石井 瑛大	B&G 高松海洋クラブ	8	8	13	13	7	7	8	8	36
8	3252	杉田 慧人	B&G 高松海洋クラブ	7	7	8	8	16	16	7	7	38
9	3013	奥林 寿斗	和歌山ジュニアヨットクラブ	15	15	7	7	8	8	11	11	41
10	3317	中村 遥斗	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	10	10	10	10	12	12	10	10	42
11	3082	木下 晴陽	和歌山ジュニアヨットクラブ	17	17	5	5	10	10	12	12	44
12	3172	矢野 菜菜	和歌山ジュニアヨットクラブ	13	13	12	12	11	11	9	9	45
13	3398	岩崎 翔汰	大阪ジュニアヨットクラブ	12	12	11	11	9	9	15	15	47
14	3014	安井 迅悟	和歌山ジュニアヨットクラブ	11	11	9	9	15	15	13	13	48
15	2304	積木 海人	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	9	9	17	17	13	13	17	17	56
16	2660	井上 晃飛	和歌山ジュニアヨットクラブ	16	16	16	16	14	14	14	14	60
17	3012	岸 玲大	和歌山ジュニアヨットクラブ	14	14	15	15	17	17	16	16	62
18	9	鶴田 奏	大阪ジュニアヨットクラブ	OCS	19	18	18	18	18	18	18	73

OP 級初級者 参加艇数 21 艇																		
順位	セーラー No.	選手名	所属クラブ	1R		2R		3R		4R		5R		6R		7R		合計得点
				着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	
1	3253	齊藤 翼	B&G 高松海洋クラブ	3	3	1	1	6	6	2	2	1	1	4	4	2	2	19
2	3083	松浦 瑠	B&G 高松海洋クラブ	1	1	2	2	4	4	6	6	3	3	2	2	4	4	22
3	3251	山本 權湊	B&G 高松海洋クラブ	2	2	5	5	2	2	3	3	4	4	3	3	3	3	22
4	3293	山中 遥海	和歌山ジュニアヨットクラブ	7	7	8	8	1	1	1	1	6	6	1	1	1	1	25
5	10	岡本 莉津斗	大阪ジュニアヨットクラブ	4	4	3	3	3	3	11	11	8	8	5	5	9	9	43
6	2949	升田 優叶	B&G 伊丹海洋クラブ	6	6	4	4	5	5	12	12	5	5	7	7	6	6	45
7	3402	岩崎 美咲	大阪ジュニアヨットクラブ	5	5	7	7	8	8	4	4	2	2	10	10	13	13	49
8	2658	井上 愛聖	和歌山ジュニアヨットクラブ	10	10	9	9	7	7	9	9	7	7	8	8	5	5	55
9	7	林田 大和	大阪ジュニアヨットクラブ	8	8	6	6	10	10	15	15	14	14	6	6	11	11	70
10	15	瀧井 彪允	B&G 高松海洋クラブ	11	11	11	11	9	9	8	8	10	10	12	12	12	12	73
11	14	川北 智大	B&G 高松海洋クラブ	15	15	13	13	12	12	7	7	12	12	11	11	7	7	77
12	2661	木下 琴穂	和歌山ジュニアヨットクラブ	13	13	10	10	11	11	10	10	9	9	17	17	8	8	78
13	12	山本 汐穂	B&G 高松海洋クラブ	16	16	OCS	22	15	15	5	5	15	15	9	9	16	16	98
14	3110	中村 瞭太	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	17	17	14	14	19	19	13	13	11	11	16	16	10	10	100
15	07	旭 理佐	B&G 高松海洋クラブ	18	18	17	17	13	13	14	14	13	13	14	14	15	15	104
16	8	岸本 羽叶	大阪ジュニアヨットクラブ	9	9	12	12	16	16	19	19	RET	22	13	13	17	17	108
17	6	亀松 宥仁	大阪ジュニアヨットクラブ	14	14	18	18	17	17	17	17	18	18	15	15	14	14	113
18	2882	和田 悠生	B&G 高松海洋クラブ	12	12	16	16	14	14	16	16	16	16	DNF	22	18	18	114
19	2475	河内 奏人	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	19	19	15	15	18	18	18	18	19	19	18	18	19	19	126
20	11	佐藤 海生	B&G 高松海洋クラブ	DNF	22	19	19	20	20	20	20	17	17	19	19	20	20	137
21	2	藤田 彩帆	大阪ジュニアヨットクラブ	DNC	22	DNC	22	DNC	22	DNC	22	DNC	22	DNC	22	DNC	22	154

クラブ対抗レース成績表						
総合順位	所属クラブ	上位得点			参加艇数評価点	遠隔地評価点
1	B&G 高松海洋クラブ	1	2	2	-3	-1
2	和歌山ジュニアヨットクラブ	1	4	8	-3	0
3	大阪ジュニアヨットクラブ	5	7	9	-2	0
4	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	10	14	15	-1	-1
5	真野浜セーリングクラブ	3	22	22	0	0
6	B&G 伊丹海洋クラブ	6	22	22	0	0

第5回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2018)成績 2018年10月21日(日) 大阪府ヨットセーリング連盟 二色ハーバー

OP 級上級者 参加艇数 15 艇													
順位	セーラー No.	選手名	所属クラブ	1R		2R		3R		4R		総得点	
				着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	合計	得点
1	3184	菅野 響	兵庫県セーリング連盟	2	2	3	3	3	3	1	1	9	9
2	3251	酒巻 佑成	B&G 高松海洋クラブ	3	3	2	2	2	2	3	3	10	10
3	3254	旭 夏希	B&G 高松海洋クラブ	4	4	5	5	1	1	4	4	14	14
4	3131	上原 慎平	和歌山ジュニアヨットクラブ	1	1	1	1	4	16	2	2	20	20
5	3172	矢野 菜菜	和歌山ジュニアヨットクラブ	6	6	4	4	5	4	7	7	21	21
6	3252	中山 裕文	B&G 高松海洋クラブ	5	5	6	6	6	5	5	5	21	21
7	3015	栗本 漣	和歌山ジュニアヨットクラブ	7	7	7	7	7	6	6	6	26	26
8	3250	勝田 実莉	B&G 高松海洋クラブ	9	9	8	8	8	7	9	9	33	33
9	3346	菅野 こころ	兵庫県セーリング連盟	8	8	9	9	10	9	8	8	34	34
10	3253	石井 瑛大	B&G 高松海洋クラブ	10	10	10	10	9	8	10	10	38	38
11	9	鶴田 奏	大阪ジュニアヨットクラブ	14	14	14	14	11	10	11	11	49	49
12	10	岩崎 翔汰	大阪ジュニアヨットクラブ	12	12	12	12	12	11	14	14	49	49
13	15	中山 佳子	B&G 高松海洋クラブ	13	13	11	11	13	12	13	13	49	49
14	3083	岡田 幸士朗	B&G 高松海洋クラブ	11	11	13	13	15	14	12	12	50	50
15	8	小川 凜己	大阪ジュニアヨットクラブ	15	15	15	15	14	13	15	15	58	58

OP 級初級者 参加艇数 19 艇																	
順位	セーラー No.	選手名	所属クラブ	1R		2R		3R		4R		5R		6R		総得点	
				着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	合計	得点
1	3012	岸 玲大	和歌山ジュニアヨットクラブ	4	4	6	6	1	1	1	1	3	3	4	4	19	19
2	2660	木下 晴陽	和歌山ジュニアヨットクラブ	1	1	1	1	8	8	6	6	8	8	2	2	26	26
3	2661	奥林 寿斗	和歌山ジュニアヨットクラブ	2	2	9	9	3	3	9	9	1	1	3	3	27	27
4	2658	安井 迅悟	和歌山ジュニアヨットクラブ	9	9	5	5	9	9	8	8	6	6	1	1	38	38
5	2659	井上 晃飛	和歌山ジュニアヨットクラブ	5	5	8	8	14	14	2	2	5	5	7	7	41	41
6	14	川北 創一	B&G 高松海洋クラブ	8	8	7	7	5	5	10	10	4	4	8	8	42	42
7	2663	栗辻 尚典	和歌山ジュニアヨットクラブ	7	7	15	15	2	2	12	12	2	2	5	5	43	43
8	2614	広狩 伊央利	兵庫県セーリング連盟	6	6	10	10	7	7	4	4	7	7	9	9	43	43
9	10	杉田 慧人	B&G 高松海洋クラブ	14	14	2	2	10	10	3	3	11	11	6	6	46	46
10	2836	広狩 旭都	兵庫県セーリング連盟	3	3	14	14	18	18	7	7	12	12	10	10	64	64
11	7	林田 大和	大阪ジュニアヨットクラブ	16	16	4	4	6	6	16	16	13	13	11	11	66	66
12	6	岡本 莉津斗	大阪ジュニアヨットクラブ	12	12	12	12	4	4	14	14	17	17	13	13	72	72
13	08	旭 理佐	B&G 高松海洋クラブ	13	13	3	3	16	16	11	11	16	16	14	14	73	73
14	13	齊藤 翼	B&G 高松海洋クラブ	11	11	13	13	11	11	5	5	18	18	17	17	75	75
15	16	松浦 瑠	B&G 高松海洋クラブ	10	10	18	18	13	13	17	17	10	10	12	12	80	80
16	4	中田 哲也	大阪ジュニアヨットクラブ	15	15	11	11	15	15	13	13	15	15	DNC	20	89	89
17	3	岩崎 美咲	大阪ジュニアヨットクラブ	19	19	16	16	12	12	19	19	9	9	16	16	91	91
18	1	岸本 羽叶	大阪ジュニアヨットクラブ	17	17	19	19	19	19	15	15	14	14	15	15	99	99
19	05	川北 智大	B&G 高松海洋クラブ	18	18	17	17	17	17	18	18	19	19	18	18	107	107

クラブ対抗レース 成績表							
総合 順位	クラブ名	No.1 順位	No.2 順位	No.3 順位	参加艇数 ボーナス	エリア ボーナス	合計
1	和歌山ジュニアヨットクラブ	1	2	3	-2		4
2	B&G 高松海洋クラブ	2	3	6	-3	-1	7
3	兵庫県セーリング連盟	1	8	9	-1		17
4	大阪ジュニアヨットクラブ	11	11	12	-2		32

■ 2020 年度のイベントスケジュール

- 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2020
開催期日：2020 年 5 月 3 日（日）～ 5 日（火・祝）
開催場所：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所
※シーマンシップに溢れた選手、指導者、クラブを表彰する「小澤吉太郎特別賞」を設けています
※国内クラブ対抗レースの上位 3 クラブには、海外セーリング研修派遣資格各 1 名授与の特別賞を予定します
- 第 8 回ジュニアヨットクラブジャンボリー
開催期日：2020 年 8 月 8 日（土）～ 10 日（月・祝）
開催場所：＜海洋活動＞麻生ヨットクラブ及び前面湖面（行方市天王崎・霞ヶ浦）
＜宿泊施設＞茨城県立白浜自然少年の家
- 第 7 回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ（ミキハウスカップ大阪 2020）
開催期日：2020 年 9 月 6 日（日）
開催場所：大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー（貝塚市）
※優勝クラブには海外セーリング研修派遣資格 1 名授与の特別賞も予定します
- 第 30 回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ（ミキハウスカップ東京 2020）
開催期日：2020 年 10 月 18 日（日）
開催場所：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所
※優勝クラブには海外セーリング研修派遣資格 1 名授与の特別賞も予定します
- 海外セーリング研修
2021 年 2 月ごろ開催予定（日時、場所は今後国際委員会にて検討）
なお、2019 年度の研修は下記の通り開催いたしました。
パース海外研修
開催期日：2020 年 1 月 30 日（木）～ 2 月 5 日（水）
開催場所：西オーストラリア・パース
参加クラブ：B&G 高松海洋クラブ、葉山町セーリング協会、夢の島ヨットクラブ、江東区立小中学校セーリング部



左から箱守康之氏、井上義朗氏、麻生ヨットクラブ小峰氏

■平成 30 年度連盟会長表彰

2019 年 6 月 8 日、東京海員会館にて開催された 2019 年度定時総会において、下記 2 名に連盟会長賞が、麻生ヨットクラブに感謝状が授与の報告がされました。当日は受賞の皆さまが出席し、安井副会長から表彰状と記念のバッジが手渡されました。

《受賞者》

井上 義朗氏（葉山町セーリング協会会長）

立教大学体育会ヨット部でご活躍され、卒業後も自ら外洋レースに参加されるとともに、新聞記者として東京オリンピックの取材をされるなど、ヨット界でご活躍されました。1994 年に葉山町ヨットスクールを設立、コーチや監督として多くの子供たちの育成にご努力され、2016 年より葉山町セーリング協会の会長を務められています。

箱守 康之氏（YMFS ジュニアヨットスクール葉山校長）

ヤマハ発動機株式会社に所属され、1977 年の国際 470 級世界選手権大会準優勝、不参加となった 1980 年モスクワ五輪のプレ大会優勝、代表選出、1989 年全日本 470 選手権優勝、など、長く世界のトップセーラーとして活躍されました。その後、公益財団法人日本セーリング連盟（JSAF）の強化コーチとしてナショナルチームを率いられるなど後進の指導に携われ、2008 年からは TMFS ジュニアヨットスクール葉山の校長として地元ジュニアの育成にご尽力いただいています。

麻生ヨットクラブ（代表内田正規氏）

同クラブは茨城県行方市の天王崎公園前の霞ヶ浦を拠点に、ヨット・水上バイク等でマリンスポーツに親しみながら、会員相互の親睦を深めているクラブです。2018 年度、19 年度に霞ヶ浦で開催されたジュニアヨットクラブジャンボリーでは、共催団体として全面的にご協力をいただき、皆様の心のこもった運営で、ジャンボリーの参加者が楽しく交流を深めることができました。授与式にはクラブを代表して小峰実様が出席されました。

■公益財団法人日本セーリング連盟（JSAF）平成 30 年度定期表彰

公益財団法人日本セーリング連盟では毎年定期表彰を各加盟団体の受賞候補者推薦を受けて審査の上で表彰を実施しています。平成 30 年度は、JJYU 推薦の小野澤秀典理事が優秀指導者賞を受賞され、2019 年 1 月 26 日に開催された全国代表者会議の席上で表彰式が行なわれました。



JSAF 表彰式での受賞者の記念撮影。前列左が小野澤理事。

●公認指導員（2020 年 3 月末日現在、JJYU 役員を除く）

クラブ名 / 有効期間	2017.4 ～ 2021.3		2018.4 ～ 2022.3		2019.4 ～ 2023.3	
浅虫 JYC	角田 健	17002				
いわき JYC	菊池 邦仁 内田 善啓	17003 17004				
夢の島 YC	林 和之	17001	近藤 哲弘 18001 篠宮 和明 18002 山本 武 18003 渡辺 隆宏 18004			
江東 JYC					阿部 喬 19020 野口 秋男 19021 青木 秀二 19022 滝川 宗一 19017 滝川 和男 19023	
横浜 JYC					渡辺 浩一 19019	
宜野湾はごろも海洋少年団			山口千賀子 18013 仲里 宏之 18016			
石垣 JYC					多賀 富治夫 19024	
YMFJYS 葉山			結解 秀哉 18015			

■2020年度JJYU役員・組織をご紹介します。

2020年度(令和2年度) 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟組織

総 会	財務会計 担当 伊藤雅宣	主たる業務		委員長	副委員長	委員
		財務会計 委員会	特別会員募集 財政・財務管理 会計・予算・決算業務	伊藤雅宣	中根健二郎	原田浩二
理事会						
会 長 石原伸晃	総務関係 担当 塩野崎英二	総務委員会 (事務局)	総会・理事会・委員会開催 (案内) 登録クラブ現況把握 正会員・特別会員名簿管理 年会費・クラブ負担金等管理・督促 各種書類作成、連絡、発送業務	原田浩二	井上洋子 (事務局長)	筒井洋二 (事務局) 竹腰真紀子 (事務局)
副会長 安井 清 伊藤雅宣		広報委員会	ユースセーリング発行 広報活動 ホームページ管理 連盟史編纂 (小委員会)	岸野 寛	葛西信一	伊藤雅宣
				岸野 寛	葛西信一	
専務理事 伊藤雅宣		表彰委員会	表彰委員会の開催 表彰候補者の履歴調査 表彰候補者の会長への推薦 JSAF 定期表彰受賞候補者推薦	中川二郎	安井 清	伊藤雅宣 塩野崎英二、中根健二郎 小野澤秀典、井上洋子
常務理事 中川二郎 塩野崎英二	事業関係 担当 中川二郎	指導育成 委員会	公認指導員認定・更新 指導者講習会開催 指導者育成	中川二郎	青山義弘	丸山晴久 (医事委員長) 山下弘雄、野村泰造 浜崎澤次郎 川副陽子 (医事委員) 田嶋明彦 (医事委員)
監事 茅野信行 滝川宗一		普及渉外 委員会	後援・協賛団体対応 (含JSAF) 文科省、国交省対応 スポーツ振興センター対応	塩野崎英二	玉置 純	小野澤秀典、元 憲幸 原田浩二、佐藤公俊 中根健二郎 (JSAF 評議員)
常任顧問 中根健二郎		競技委員会	競技会企画・準備・運営 () 書きは担当責任者	高間博之	筒井洋二 (国際交流競技会)	野村泰造 (ミキハウスカップ東京) 玉置 純 (ミキハウスカップ大阪) 葛西信一 (ジュニアヨットクラブ ジャンボリー) 元 憲幸、竹腰真紀子、 森田光一、菅野輝郎
顧問 佐藤精知夫 小松勇一 小野一臣 内藤武夫 小山利男		国際委員会	国際交流競技会 ミキハウスカップ 海外セーリング研修	佐藤公俊	小野澤秀典	青山義弘、原田浩二 野村泰造、山下弘雄 菅野輝郎
		地域担当 委員会	地域クラブ、県連担当	小野澤秀典	山下弘雄	内藤武夫、小山利男 玉置 純、青山義弘 菅野輝郎

ヨットを運ぶ
子どもたちの夢を運ぶ
そして...
想いを載せて人生を運びます



お客様の大切なヨットやお荷物を安全に管理し、確実にお届けいたします

営業倉庫・貸倉庫・運送なら

隅田倉庫株式会社

隅田倉庫が選ばれる理由

- 創業60年以上の実績と信頼
- 徹底した品質管理

- 小口対応可能
- 全国配送対応

【本社】
〒130-0002 東京都墨田区業平1-1-9
TEL 03-3622-2369 FAX 03-3623-0288

【北関東支店】
〒306-0012 茨城県古河市旭町2-14-65 コーポサンシティB 棟211号室
TEL 0280-33-2010 FAX 0280-77-1070

【北関東配送センター】
〒306-0125 茨城県古河市仁連1910-7 TEL 0280-33-2010 FAX 0280-77-1070

Youth Sailing No.88

- レイアウトデザイン 有限会社 オフィスルナ
- 印刷・製本 有限会社 サムネク
- 編集委員会 連絡先
一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟
ユースセーリング編集委員長 岸野寛
副委員長 葛西信一

〒251-0033
神奈川県藤沢市片瀬山 5-26-1
TEL : 090-9002-6913
e-mail : kishino.h@gmail.com

ユースセーリング No.88をお届けします。昨年度より年1回の発行となり、2018年秋のミキハウス大阪2018から、昨秋のミキハウス大阪2019までのイベントを掲載しています。この一年も、若洲、大阪、行方、そしてパース、オークランドで、内容の濃い活動をしてまいりました。どの行事も、地元のセーリング連盟の皆様、指導者・保護者の皆様、海外のヨット関係者の皆様、スポンサー様など、多くの関係者のご尽力なしでは開催できないものです。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。平均年齢の高いJJYUですが、皆子供たちの喜ぶ姿に支えられて頑張っています！

スポーツくじ



スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

Youth Sailing
Japan Junior Yacht Club Union ユースセーリング (ジュニアヨット指導員) No. 88

